

誰もが安心して 過ごせるクラスへ

恵庭中学校 いじめ防止基本方針

「みんなで守り、みんなでつくる、私たちの居場所」

【中学生版】

私たちの3つの約束



生ます

互いを尊重し、
いじめを許さない
温かい集団をつくる。



見逃さす

小さな「SOSのサイン」に気づき、
絶対に放置しない。

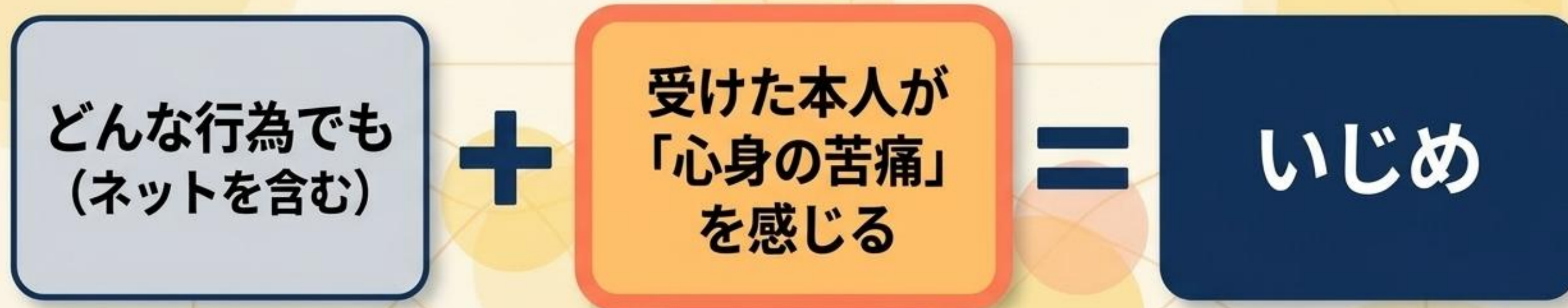


守り抜く

迅速に動き、いじめ
受けた人を学校全体
で最後まで守る。

いじめを「生ます」「見逃さす」「守り抜く」学校

「いじめ」とは何か？（いじめの定義）



- ・「ふざけ合い」や「けんか」のつもりでも、相手が苦痛を感じていれば「いじめ」です。
- ・やった側の「意図」ではなく、**受けた側の「気持ち」**が基準になります。

これらすべてが「いじめ」に当たります



心理的なこと

- ・悪口や脅し文句を言う
- ・仲間はずれや、集団で無視をする
- ・冷やかしかや、からかい



物理的なこと

- ・軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩く・蹴る
- ・ひどく暴力を振るう



お金や持ち物のこと

- ・金品をたかる
- ・持ち物を隠す、壊す、捨てる



ネット上のこと

- ・SNS等での誹謗中傷
- ・嫌な画像やメッセージの拡散

クラス全員が関わっている「四層構造」



- 「観衆」はいじめを加担させる力を持っています。
 - 「傍観者」の沈黙は、加害者に「やってもいいんだ」と勘違いさせます。
- お願い：「観衆」や「傍観者」にならない勇気を持ってください。**

ネットの世界も、ルールは同じ

リアル



つながっている同じ世界

ネット



文字だけのやり取りは、誤解を生みやすく、顔が見えないためエスカレートしやすい危険があります。

情報モラルを守る：

- ・自分が言われて嫌なことは、絶対に書き込まない。
- ・ネットいじめの「加害者」にも「被害者」にもならない。

ひとりで抱え込まず、SOSを出そう

「苦しいな」「友達が辛そうだな」と思ったら…

勇気を出して、誰かに伝えてください。

先生に相談する

(担任、学年、部活の先生、誰でもOK)

保護者や家族に話す

定期的なアンケートや
教育相談で伝える

先生たちは、SOSを出した人を絶対に最後まで守り抜きます。

「ごめんね」で終わりではありません（いじめの解消）

「いじめの行為が止まっている状態」が
最低3ヶ月 継続する

謝罪

確認
面談



謝罪 $\neq$

解決ではありません

本人が「心身の苦痛を感じていないか」を先生がしっかりと確認します。

ここで初めて「解消」となります。

単に謝って終わりではありません。学校は長期的に見守りを続けます。

一人一人の「居場所」と「絆」を大切に

このクラスには、あなたが必要不可欠です。

全員が、ありのままの自分でいられる「居場所」があります。

誰かの痛みに気づき、互いを思いやる「絆」を、
今日からみんなで作っていきましょう。

誰もが安心して笑顔で過ごせる恵庭中学校を、私たち全員の手で。